



たしろ 研 通信

発行者：豊田市議会議員 たしろ 研

TEL : 0565-88-1468

FAX : 0565-88-6280

E-mail : ken_tashiro0828@yahoo.co.jp

非常に暑くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。熱中症には充分注意をし、お体ご自愛願います。

先日の参議院選挙、都議会選挙、皆様のおかげで大勝利する事ができました。心から感謝するとともに、皆様の真心に今後の活動でお応え出来るよう全力で頑張っています。

6月議会が開催されました。

H25年度豊田市議会6月度定例会が6月14日（金）～6月28日（金）までの日程で開催され、子どもにやさしいまちづくり推進会議の位置づけの整理及び子どもの権利擁護委員の仕事の追加を行った「豊田市子ども条例の一部を改正する条例」議案 兵庫県南部地震や東北地方太平洋沖地震クラスの大地震に対する橋の耐震設計が変遷してきているため、豊田大橋についても、大地震時の落橋に対する安全性を確保するために、最新の基準（H24 道路橋示方書準拠）に則って耐震補強工事を実施する「豊田大橋橋梁耐震補強・補修工事」等の「工事請負契約の締結に関する」議案 子どもたちの教育現場を確保するため、「豊田市立寺部小学校用地」等を購入する「財産の取得に関する」議案など、執行部から提出された議案67号から78号までの12議案を慎重に審議し、議決いたしました。

本年3月に続き7回目の一般質問を行いました。



質問内容 「防災・減災の震災対策」

大切な命を守る為の備えは災害が起こる前にしかできない。「無縁社会」といわれるが、人の命は人でしか救えない。今回の南海トラフ地震にも、しっかりと防災・減災をおこなって、防災力・減災力を高めていかななくてはならない。又、市民の避難所となる小中学校の震災対策と児童生徒の安全を守るための対策についても行う必要がある。以上の点から防災・減災について、質問をさせていただきました。

質問の内容と答弁の抜粋

Q：緊急輸送道路はどこにどれくらいあるかお聞きします。

A：大規模災害発生時に広域の緊急輸送を円滑に行う為、愛知県が、市内の高速道路、国道153号、155号、248号など国道及びこれらを連結する県道など23路線を緊急輸送道路として指定している

Q：帰宅困難者用備蓄物資は何がどれくらいあるのか。

A：帰宅困難者6万人に対し、缶入りパン・クラッカー等1回分約6万食の非常食及び飲料水を備蓄している。

Q：避難所となる小中学校のマンホールトイレの進捗状況は？

A：マンホールトイレと呼ばれている下水道接続型災害用便槽は、平成24年度末で36カ所の指定避難所で整備済み。25年度は、指定避難所1カ所に整備予定であり、今後は下水道が整備または予定されている指定避難場所全てについて、下水道整備の進捗にあわせて災害用便槽を整備していく。

Q：避難所となる小中学校の非構造部材の耐震化対策の現状は？

A：すべての学校の総点検を今年の9月までを目途に実施している。その点検結果を踏まえて、耐震対策が必要とされた学校で、軽微なものについては、今年度中に対策していく。また、大幅な耐震対策が必要な場合には、今年度中に設計を行い、来年度に工事を実施する。

以上の4項目を含め、19項目について質問を致しました。今後も皆様が安全・安心に暮らせるよう頑張ってください。

法律相談を実施！次回の相談日は…

日時：9月10日（火）18:30～20:30

日時：10月8日（火）18:30～20:30

会場：産業文化センター 4F

連絡先：豊田市役所 TEL：31-1212 公明党議員控



お申込みは
お早めに！